

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	環境園芸学科		
科目名称	生徒指導・進路指導						授業形態	講義	
科目コード	411100	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	谷口 泰成							ICT活用	○
授業概要	これまで、学校現場及び教育行政〔高校（県立：農業高校・総合学科、私立：普通科通信制）、農業大学校、県教育委員会など〕で勤務した経験を生かし、将来教師を目指す学生にとって「必要な素養」と「実践的な知識・スキル」を身に付けさせたいと考えています。本講義では、生徒の学習や成長を支援するための生徒指導や進路指導の基礎を身に付けることを目的とし、生徒指導の理論と実践、進路指導の方法論、キャリア教育の重要性、そして学校現場での多機関連携のあり方などを学びます。また、教育現場で直面する可能性のある様々な課題に対する対応策等も取り扱い、生徒一人ひとりのニーズに応じた指導ができるよう実践的なスキルについても学習します。								
関連する科目	教育学概論、教職概論、教育心理学								
授業の方法と進め方	テキストは、文部科学省の「生徒指導提要」と「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」を使用します。事前に端末にダウンロードするか、プリントアウトして、講義に持参してください。動画教材として、独立行政法人教職員支援機構「校内研修シリーズ」を活用します。 指導の基礎となる国の方針を踏まえた上で、学校における組織的な対応や個別の指導場面等をイメージしながら、グループワークやケーススタディを交えた学びを進めていきます。また、毎回、課題（レポート、プレゼン等）を課すことにより、講義内容を整理したり、自身や他者の体験などから学びを深めたりします。								
第1回	【生徒指導】全9回 ・ガイダンス ・生徒指導提要解説1「生徒指導の基本的な進め方」 -第1章 生徒指導の基礎 -第2章 生徒指導と教育課程								
第2回	・生徒指導提要解説2「個別の課題に対する生徒指導」 -第4章 いじめ -第5章 暴力行為 -第6章 少年非行 -第7章 児童虐待 -第8章 自殺								
第3回	・生徒指導提要解説3「個別の課題に対する生徒指導」 -第9章 中途退学 -第10章 不登校 -第11章 インターネット・携帯電話に関わる問題 -第12章 性に関する課題 -第13章 多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導								
第4回	・グループワーク1 自身の振り返り 「生徒指導における体験から指導の在り方を考える～よい指導と悪い指導～」								
第5回	・グループワーク2 グループ発表・シェアリング 「良い指導と悪い指導」 -ヒントと改善点（生徒・保護者・指導者・学校・地域等）								
第6回	・ケーススタディ1 事例紹介 「校則・いじめ・不登校」								
第7回	・ケーススタディ2 事例紹介 「懲戒・体罰・暴力行為・中退」								
第8回	・ケーススタディ3 事例紹介 「指導死・自殺・引きこもり」								
第9回	・生徒指導提要解説4「生徒指導の基本的な進め方」 -第3章 チーム学校による生徒指導体制 ・生徒指導のまとめ								
第10回	【進路指導】全6回 ・ガイダンス ・キャリア教育の手引き解説1 第1章 キャリア教育とは何か ・「桜の花の咲くころに」（動画）								

第11回	・グループワーク1 自身の振り返り 「進路指導・キャリア教育における体験から指導の在り方を考える～よい指導と悪い指導～」
第12回	・グループワーク2 グループ発表・シェアリング 「良い指導と悪い指導」 -ヒントと改善点（生徒・保護者・指導者・学校・地域等）
第13回	・キャリア教育の手引き解説2 第3章 中学校におけるキャリア教育 第4章 高等学校におけるキャリア教育 ・キャリアパスポート（NITS動画）
第14回	・キャリア教育の手引き解説3 第5章 キャリア教育の実践 ・キャリア教育の実践（NITS動画）
第15回	・キャリア教育の手引き解説3 第2章 キャリア教育推進のために ・進路指導・キャリア教育のまとめ
授業の達成目標	中学校および高等学校の教員を目指す学生にとって、生徒指導と進路指導・キャリア教育の実践的なスキルを身につけていくために必要な知識・技能や考え方を習得する。また、自身の体験やケーススタディにより、それぞれの立場や役割を理解し、様々な変化に柔軟に対応できる人材を育成する。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(2)
授業時間外学習【予習】	・指定したテキストに目を通し、次時の概要を把握しておく（30分程度） ・グループワークやケーススタディでは、グループごとに発表用プレゼンを作成する（2時間程度）
授業時間外学【復習】	・講義で課されたレポートをまとめる（1時間程度）
課題に対するフィードバック	レポートは、評価後、返却・解説します。また、講義内で発表や資料配布を行い、受講生同士でシェアリングします。
評価方法・基準	・学習活動（レポート、グループワーク、発表等）/60点 ・定期試験（講義内容に関する知識や考え方を問う問題）/40点
テキスト	デジタルデータを個人用端末にダウンロードして使用。毎時、端末もしくはペーパーを持参する。 ・「生徒指導提要（令和4年12月改訂）」/ 文部科学省 ・「中学校・高等学校キャリア教育の手引き（2023年3月）」/ 文部科学省
参考書	・「生徒指導提要（改訂版）全文と解説」/ 月刊生徒指導編集部 ・「事例で学ぶ生徒指導・進路指導・教育相談：中学校・高等学校編 第4班」/ 遠見書房 ・「キャリア・パスポート（例示資料）中学校指導者用・生徒用」/ 文部科学省 ・「キャリア・パスポート（例示資料）高等学校指導者用・生徒用」/ 文部科学省 ・「こんなときどうする？生徒指導」/ 学事出版
備考	・授業中に記入する感想を出席管理に使用します。